村をシダレモモで
いっぱいに

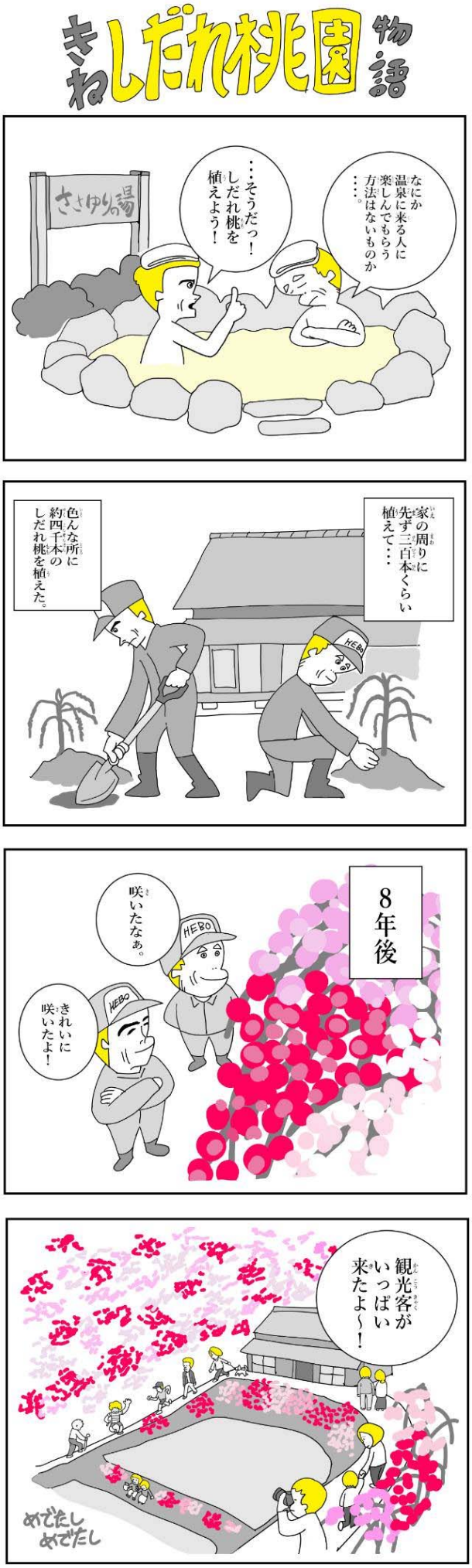
【はじめに】　串原は、豊田市や名古屋から車で１時間ほどの過疎の山村です。平成14年には、観光目的の村営温泉施設をつくりました。

【どうした！？】　そこで、木根集落では、訪ねてくださる人にとって、魅力的なところにしようと、地域の仲間で「きね四季花会」を結成。シダレモモやハスの植栽をはじめています。

【どのくらい植えたの？？】　初めての植栽は平成23年の春。私を含む２人が、苗を300本仕入れ、自宅付近に植栽しました。平成25、26年には、メンバーで、新たに2250本植えましたが、多くが枯れてしまいました。そこで平成27年からタネを播き、平成29年からは自家苗で植栽しています。
植栽後に枯れてしまったものもありますが、これまでに８カ所に約４千本のシダレモモを植え、面積は３haを超えるほどになっています。

【普段の管理は】　植樹以外の管理作業は６人の役員で担っています。草刈り作業は年３～４回。木が大きくなるにつれ、下草が弱くなり作業はラクになってきました。他にはタネとり、播種、施肥作業も必要に応じて行ないます。

【感謝！感謝！】　最近では、４月初旬から中旬にかけ、多くの方に訪れていただけるようになり、直売所や温泉の売り上げも増えました。本当にありがたいことです。

【どうする…】　これからも「花咲く里」を目指して、頑張っていこうと思います。

きね四季花会　会長　三宅　明